

有珠山

1 概況

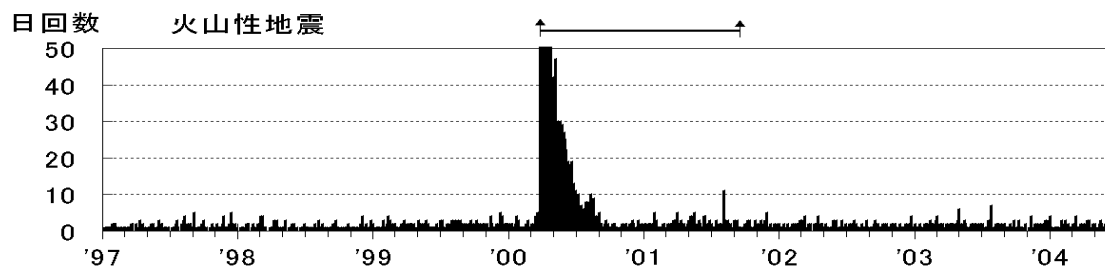
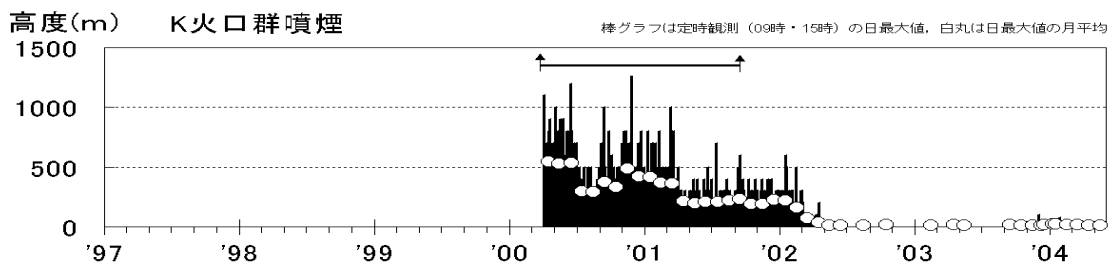
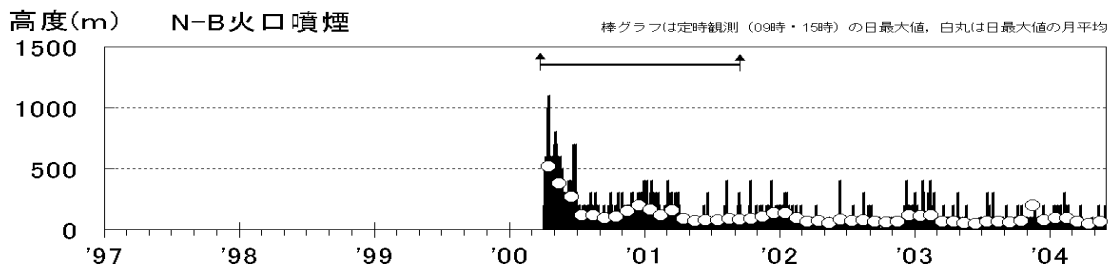
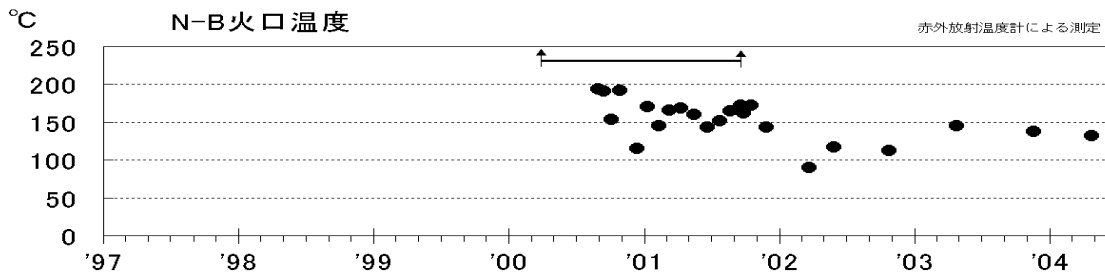
火山活動は静穏な状態が続いています。

2 地震の発生状況

火山性地震の回数は1日あたり0~3回と少ない状態で推移しました。震源はいずれも山頂火口原直下の浅部(海拔下1km前後)に分布しています。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(A点)

2003~2004年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地震回数	21	31	17	18	13	20	22	15	21	20	28	28
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



最近の火山活動経過図(1997年1月1日~2004年5月31日)
で挟まれた期間は2000年噴火活動期

3 噴煙の状況

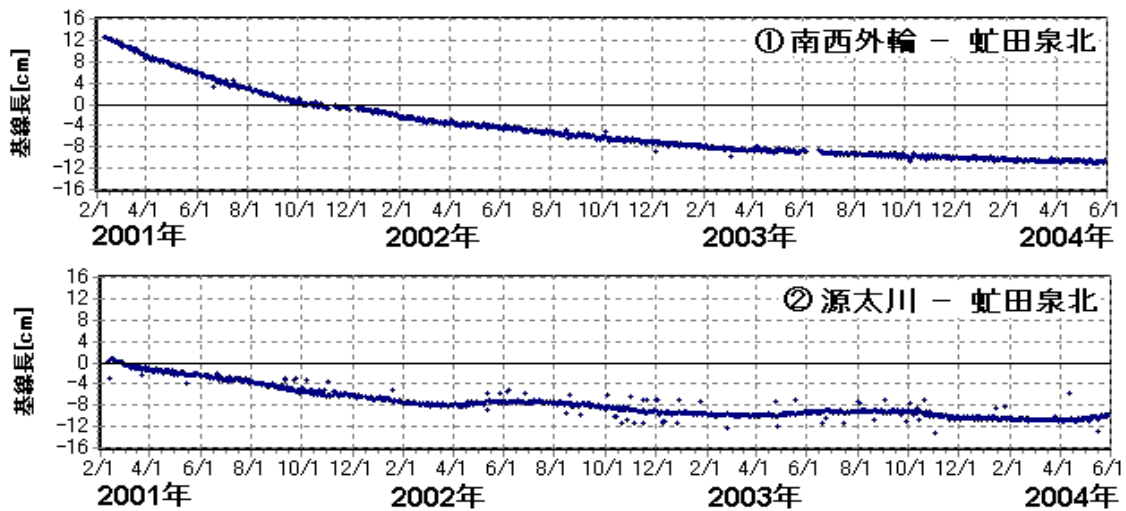
西山西麓(N)火口群にある N-B 火口の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m以下で推移しました。金比羅山(K)火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。そのほか、山頂火口原や昭和新山でも少量の噴煙が見られていますが、これまでと比べて特に変わった様子は認められません。

4 上空からの観測結果

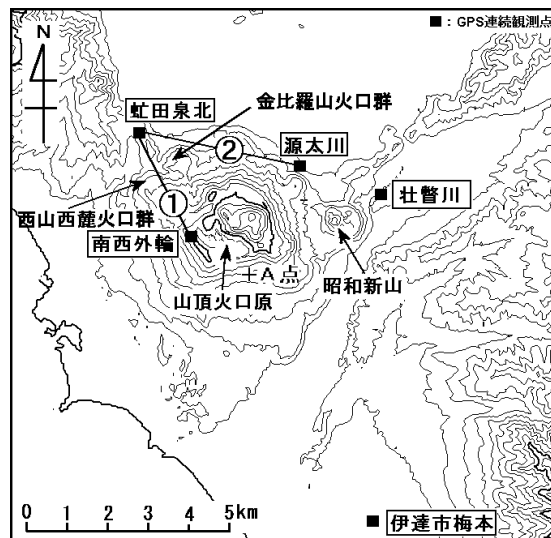
5月7日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、山頂火口原のI火口・小有珠南東麓・銀沼火口などから白色の噴気が上がっていました。西山西麓火口群の N-B 火口・N-C 火口、金比羅山火口群の K-11 火口・K-B 火口の西側から、弱い白色の噴気が認められました。

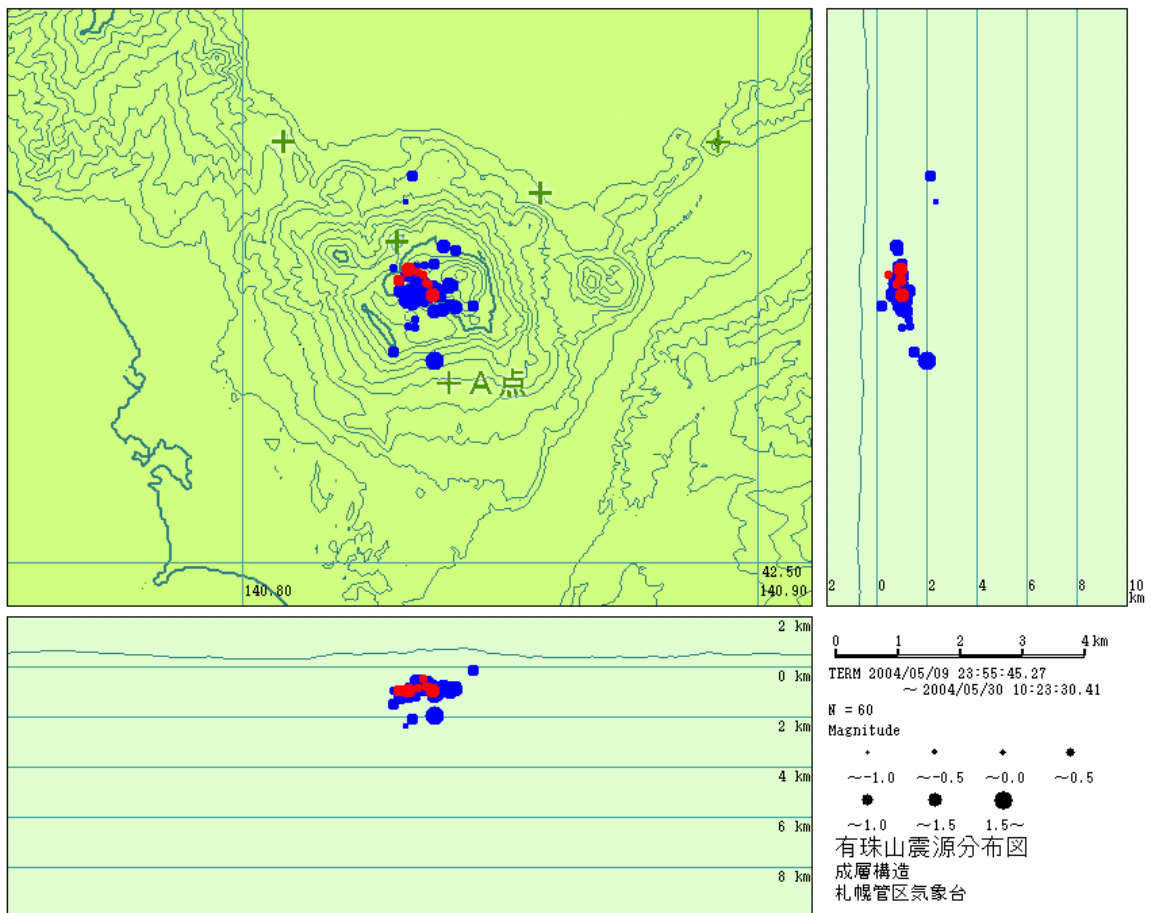
5 地殻変動の状況

GPS 連続観測では西山西麓を中心とする収縮傾向は 2002 年春以降不明瞭となり、その後も特段の変動は認められません。



基線長変化(2001年2月9日~2004年5月31日)





有珠山の震源分布図(丸印:震源、+印:地震観測点)

赤丸は今期間(2004年5月1日~5月31日)に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの1年間(2003年5月1日~2004年4月30日)に求まった震源を示しています。

震源はほとんどが山頂部直下の海拔下1km前後に集中しており、今期間の活動もこの領域内で発生しています。